

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		議 会 運 営 委 員 会		会議場所 第3委員会室 担当職員 鈴木 智
日 時	平成27年12月25日(金曜日)		開 議	午前 10 時 00 分
			閉 議	午後 0 時 01 分
出席委員	堤 藤本 福井 湊 石野 田中 <西口議長、齊藤副議長> (委員外議員)菱田 <欠席:小松>			
執行機関 出席者				
事務局 出席者	藤村局長、山内次長、船越総務係長、鈴木議事調査係長、三宅主任			
傍聴	可	市民 名	報道関係者 名	議員1名(酒井)

## 会 議 の 概 要

10:00

〔堤委員長 開議〕

1 後期基本計画（案）及び人口ビジョン・総合戦略（案）について

〔事務局長 説明〕

<堤委員長>

会派からの意見を列記した資料に基づいて検討いただきたい。後期基本計画（案）については総合計画審議会でも検討している。議会が意見を提出しても必ず反映されるとは限らないということをご理解いただきたい。本日の会議進行については、事前に提出された項目を順に各委員の意見を聞いていく方法でよい。

<藤本副委員長>

資料にある分類欄の 質問とした項目を先に確認していったらどうか。その後、意見としたものを検討することでどうか。

<堤委員長>

副委員長の提案のように進めることでよい。

全員了

<堤委員長>

順に意見を。

【 1 】

<福井委員>

でよい。

【 4 】

<福井委員>

でよい。

【 6 】

<福井委員>

タクシーについて明記すべきという意見である。 へ変更を。

【 22 】

< 田中委員 >

文化施設の表記がない。 でよい。

【 26 】

< 湊委員 >

でよい。

【 27 】

< 湊委員 >

でよい。

【 44 】

< 堤委員長 >

とする。

【 48 】

< 堤委員長 >

酒井委員外議員の意見を求める。

< 酒井議員 >

意見として述べたもの。

< 藤本副委員長 >

48は か のどちらか。酒井議員に再度確認したい。

< 酒井議員 >

セーフコミュニティの取り組み自体はよいと考えるが、再認証等はないという  
これまでの議会の意見を反映するべきという意味である。

< 堤委員長 >

とする。

【 52 】

< 堤委員長 >

とする。

【 54 】

< 堤委員長 >

とする。

【 57 】

< 堤委員長 >

とする。

【 58 】

< 堤委員長 >

とする。

[ 「質問」として分類することで決定した項目... 1,4,22,26,27,44,52,57,58]

< 堤委員長 >

としているものについて順に説明を。

【 2 】

< 福井委員 >

意見としての意味合いである。

【 3 】

< 福井委員 >

会派内で意見を確認していない。

< 藤本副委員長 >

できるだけ詳細に書くべき。

< 事務局長 >

高齢者の移動権については、後期基本計画（案）P 9 4 にバス交通の充実と市民の交通手段の確保として記載がある。あわせてご検討いただきたい。

< 堤委員長 >

会派で確認いただきたい。

【 5 】

< 福井委員 >

料金改定について触れているが、それだけで利用促進につながるとは思わない。料金改定を明記すること自体がおかしいと考える。促進するだけの表記で足りる。

【 7 】

< 福井委員 >

目玉となるものを明記するべき。

< 事務局次長 >

6 の整理についてはどうか。

< 堤委員長 >

6 については として分類していたものを として整理した。

< 湊委員 >

各会派からの意見はすべて執行部に提出してはどうか。

< 事務局長 >

議会の総意として取りまとめる方がより強い意見として提出できることとなるため、本日はその精査をしていただければと考えている。会派から提出することと決定いただくものであればそのように取り扱うこととしていただいてもよい。

< 田中委員 >

会派として提出したものでありすべて執行部に提出すればよい。そのうえで、3月定例会で議論すればよい。

< 石野委員 >

項目を会派間で擦り合わせて絞り込めばよい。

< 藤本副委員長 >

共通項目を絞り込んで議会から提出すればよい。また、1月11日のパブリックコメントの締切りまでに意見集約するべき。

< 湊委員 >

各項目を順に聞いていくと議会の意見としてまとまらないのではないかと。

< 堤委員長 >

まとまらない項目は議会の意見としないものとして整理しようと考えていた。時間をかけて検討して議会の総意としてまとめても反映できないこともある。議会運営委員会で内容の確認をしなければ執行部から問い合わせがくる。それをせずにこのまま会派からの意見として提出する方法もある。

< 福井委員 >

具体性に欠ける内容もあるので精査が必要である。

< 田中委員 >

意見は会派によって違うためすべて提出すればよい。また、項目別にまとめて一つ

ずつみていくのがよい。

<堤委員長>

各意見について不明な点を確認していきたい。

<休憩 10 : 50 ~ 11 : 00>

<堤委員長>

項目をすべて見ていきたい。具体的に内容を明確にして議会として提出する。委員会はもう一度開催する。

<事務局長>

議会として意見をまとめて提出するのか、会派の意見としてすべて提出するのか2つの意見が出ている。まずはどちらの方法とするかご決定いただきたい。委員長は項目の説明をすべて聞いた後、どうしていくかを決定すると説明されているのでご確認いただきたい。また、年明けに議会運営委員会を開催いただくなら締切りの関係上、1月4日の週に1回のみ開催いただくこととなる。

<堤委員長>

西口議長から意見を聞きたい。

<西口議長>

議会運営委員会の意見を尊重する。

<藤本副委員長>

議会からの意見としてまとめて出すか、会派からの意見として提出するかどちらかになる。

<湊委員>

整理することは必要だが、会派からの意見として全項目を提出しなければならないと考える。このことにより特別委員会の審査を効率的にできる。

<堤委員長>

文言等について各会派からの説明を聞いていくこととする。

【 8 】

<田中委員>

まちづくりについて検討するにあたり、一堂に会して話し合う場をつくるべきという内容。また、にぎわいづくりにおいて、亀岡のよいところを記載するべき。

【 9 】

<田中委員>

人口についての目標数値はデータを見ても下方修正するべき。

【 10 】

<田中委員>

具体的な内容を記載するべきという意見。

【 11 】

<田中委員>

人権侵害の定義があいまいで慎重な表現にするべき。救済に向けた法整備の要請となれば人権侵害につながる恐れがある。

【 12 】

<田中委員>

目標を明記するべき。

【 13 】

< 田中委員 >

記載内容を変えるべき。

【 14 】

< 田中委員 >

公の役割を前面に出す。行政の仕事は丸投げとなってしまうため、「公助」を最初に配置して、公的責任をはっきりと書くべき。

【 15 】

< 田中委員 >

資料に記載のとおり。

【 16 】

< 田中委員 >

資料に記載のとおり。

【 17 】

< 田中委員 >

資料に記載のとおり。

【 18 】

< 田中委員 >

幼稚園、保育所の職員の資質向上を目指すのであれば正職員を雇用するべき。

【 19 】

< 田中委員 >

学校規模適正化については、小規模校の良さを生かす教育を充実させることや、保護者、自治会、教職員の合意のもとに行うということを付け加えるべき。

【 20 】

< 田中委員 >

資料に記載のとおり。

【 21 】

< 田中委員 >

亀岡市独自で縮小している事業もある。就学援助を充実させるよう声をあげるべき。

【 23 】

< 田中委員 >

農業の担い手育成についての記載はあるが、実際の農業を支えているのは家族営農が主である。その役割等を記載し支援を充実するべき。

【 24 】

< 田中委員 >

国が出した出生率 2.07 を使って人口のシミュレーションをされているが、シビアに見ていく必要がある。その出生率に近づける具体策の記載もない。周辺部にも光をあてることが大切。コンパクトシティにすると周辺部が放ったらかしになる恐れがあり注意が必要。

【 25 】

< 湊委員 >

歳出で削る部分はどこか。5年で30億円の赤字が出るとされている。理事者としては答えようがない項目かもしれない。

【 28 】

< 藤本副委員長 >

中学校給食のあり方について検討する文言に「推進」を入れるべき。

【 29 】

< 藤本副委員長 >

「マタニティハラスメント」の文言を記載するべき。

【 30 】

< 藤本副委員長 >

「トップアスリート」の文言を記載するべき。

【 31 】

< 藤本副委員長 >

後期基本計画の5年間に於いて年度ごとの目標人口を記載するべき。

【 32 】

< 藤本副委員長 >

人口将来展望の文言に「100,000人」を記載するべき。

【 33 】

< 藤本副委員長 >

他市でも使用している「経済人口」という文言を記載するべき。

【 34 】

< 藤本副委員長 >

中学校給食の「推進」を明記するべき。

【 35 】

< 藤本副委員長 >

安全・安心の満足度を5%増やした場合に何%になるかを記載するべき。

【 36 】

< 藤本副委員長 >

認知症高齢者、家族への支援に「充実」を記載するべき。

【 37 】

< 藤本副委員長 >

往診医について明記するべき。

【 38 】

< 藤本副委員長 >

認知症地域支援推進員の活躍の場の推進を明記すべき。

【 39 】

< 堤委員長 >

このままの文言でよい。

【 40 】

< 堤委員長 >

このままの文言でよい。

【 41 】

< 堤委員長 >

このままの文言でよい。

【 42 】

< 堤委員長 >

酒井議員に説明を求める。

< 酒井議員 >

施策を記載している中に事業が入っている。例えば医療費無料化は事業であり、施策とは別に記載するべき。また、事業費についても記載するべき。

【 4 3 】

<堤委員長>

このままの文言でよい。

【 4 4 】

<堤委員長>

酒井委員外議員の説明を求める。

<酒井議員>

まず、数値目標について議会としてどう取り扱うのか知りたい。

【 4 5 】

<堤委員長>

このままの文言でよい。

【 4 6 】

<堤委員長>

このままの文言でよい。

【 4 7 】

<堤委員長>

このままの文言でよい。

【 4 9 】

<堤委員長>

このままの文言でよい。

【 5 0 】

<堤委員長>

このままの文言でよい。

【 5 1 】

<堤委員長>

委員外議員に説明を求める。

<酒井議員>

所管部が分かれているので記載も別ページとなっている。今回は基本構想の章立てを継承しているので仕方ないが、今後検討いただきたい。

【 5 3 】

<堤委員長>

このままの文言でよい。

【 5 5 】

<堤委員長>

酒井議員に説明を求める。

<酒井議員>

アンケート結果の記載があるが、その結果から何がいうかということは記載されていない。いつ実施してどのくらい返答があったのか等の記載がない。前期との比較分析が必要。それができないならばアンケート自体記載する必要はない。

【 5 6 】

<堤委員長>

酒井議員に説明を求める。

<酒井議員>

なぜその施策を実施するか理由を該当ページに記載するべき。

<堤委員長>

このままの文言でよい。

【 59 】

<堤委員長>

このままの文言でよい。

【 60 】

<堤委員長>

このままの文言でよい。

【 61 】

<堤委員長>

このままの文言でよい。

【 62 】

<堤委員長>

酒井議員に説明を求める。

<酒井議員>

指標の取り方が不適切なものがある。

【 63 】

<堤委員長>

このままの文言でよい。

<堤委員長>

理事者に内容を伝えるために本日の内容を整理したい。次回、すべて提出するのか項目を絞って提出するのかを決めたい。次回以降の予定はどうか。

<事務局長>

議案上程後は特別委員会での審査となる。メンバー数はこれから決定することが必要。本日は各項目の認識をいただいたものとする。次回の議会運営委員会では各項目を議会の総意としてまとめるのか、会派からの意見をそのまま提出していくのかを確認しておきたい。

<堤委員長>

会派で今日の内容を報告し検討いただきたい。

<事務局長>

議会運営委員会の開催はできれば1月6日か8日あたりでお願いしたい。

<湊委員>

各項目はこのまま提出すればよい。まとめは必要ない。

<田中委員>

会派により意見は違うが、同じ意見はまとめた方がよい。

<石野委員>

同じ意見はまとめる方法がよい。

<藤本副委員長>

同じ意見はまとめる方法がよい。

<堤委員長>

菱田委員外議員の意見を求める。

<菱田議員>

議会運営委員会でお許しいただければ2点を追加したい。

<堤委員長>



菱田議員から意見が提出されれば、追加して一覧表に整理して提出することとした  
い。

< 湊委員 >

この場で提案してはどうか。

< 菱田議員 >

後期基本計画（案）P 3 2の「暴力の根絶に向けた環境整備」の具体的施策で、「相談体制を充実する」と記載しているが、「相談体制を充実するとともにシェルター施設との連携を図る」と明記する。また、P 8 6の具体的施策で「付加価値の高い産業の振興と新産業創出の促進」と記載しているが、南丹高校にテクニカル工業系列の卒業生を優先的に地元ものづくり産業に就労してもらえるような内容を明記する。以上2点を追加で提案させていただきたい。

< 堤委員長 >

2項目を追加することとする。

全員了

< 事務局長 >

菱田議員の提案は追加して資料を作成する。事務局で作成する資料は項目ごとのものを作成するのか、このままの並びで文言整理をしたものを用意するのかご確認いただきたい。1月に議会運営委員会を開催する場合、議会の総意としてまとめる作業をするのかどうかも確認させていただきたい。

< 堤委員長 >

資料としては別表で同じような内容をまとめていただきたい。

< 湊委員 >

正副委員長にまとめを一任したい。それを提出いただければよい。

< 藤本副委員長 >

議会としてではなく、そのまま提出することとしてよいか。

< 福井委員 >

事務局で資料整理をして、正副委員長で預かり議会として出すという意味か。

< 事務局長 >

項目はすべて提出するが議会総意として出すものではないという理解でよいか確認いただきたい。

< 堤委員長 >

このまま提出するのであれば単に各会派から出されたものとして終わってしまうので、重複している項目は議会からの提出項目としたい。いずれにしても正副委員長で整理したい。

< 湊委員 >

議会全体の意見としてまとめることはできないと考える。

< 堤委員長 >

本日の議会運営委員会では各会派からの意見を聞く場として開催した。この後、文言整理したものをすべて提出する。議会からの意見として尊重するようお願いしたい。

< 田中委員 >

それでよい。

< 石野委員 >

項目ごとに差をつけずにすべて提出することにより。

< 湊委員 >

それでよい。

< 藤本副委員長 >

1月14日の議会運営委員会開催時に整理したものを配付できるよう準備いただきたい。

< 事務局長 >

議会運営委員会開催時に配付する。正副議長にお願いしたい。

< 堤委員長 >

メールボックスに入れていただきたい。文書は議長名で提出する。

## 2 その他

( 1 ) 次回の日程について ( 議会の活性化についての検討 )

・平成28年1月14日 ( 木 ) 10 : 00 ~

[ 事務局長 説明 ]

全員了

散会 12 : 01